

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110060700020101	事務事業名	文化振興総務管理事務事業	担当部	教育部	
				担当課	文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸	
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ	
基本事業名	04	文化財の活用		内線番号	5203	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	款	10 教育費				
	項	06 社会教育費				
	目	07 文化財保護費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
【消耗品等購入事務】 ・文化財グループ及び各出張所教育振興課文化財関係の事務の執行に必要なコピー用紙、トナーなどの消耗品等を購入する。 【公用車管理事務】 ・課の公用車のガソリン代を予算執行する。						

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 消耗品の購入件数	件	26	26	23	26
イ 公用車の給油回数	回	13	13	12	13
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 課及び各出張所内の各種業務						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 円滑に実施される						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 適切に保存され後世に遺す						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器等の導入等を検討し、維持管理費の削減に努めることとされている。

4. 事業費の推移	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	78	31	32	67
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	100	147	134	3,659
	事業費	千円	178	178	166	3,726

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【消耗品等購入事務】 ・23件 126,981円 【公用車管理事務】 ・13件 ガソリン代 38,598円	【消耗品等購入事務】 ・消耗品等購入により、文化振興課及び各出張所教育振興課の事務が円滑に行われた。 【公用車管理事務】 ・課の公用車の適正管理により、文化振興課の事務が円滑に行われた。

事務事業コード	0110060700020101	事務事業名	文化振興総務管理事務事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	最低限の経費で行っており削減はできない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	最善の手段で事務を行っており削減はできない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続				休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	文化財グループ及び各出張所教育振興課文化財関係の事務が円滑に実施されるよう努める。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	文化財グループ及び各出張所教育振興課文化財関係の事務が円滑に実施されるよう努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	011006000020101	事務事業名	文化振興総務管理事務事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5206		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等		
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

他の事務事業に属さない総合的な事務事業として、消耗品費、公用車の燃料代、修繕料、保険料等を計上し管理している。平成27年度は、国民文化祭が鹿児島県で開催され、霧島市においても7つのメニューを実施したことから、国民文化祭のメニュー実施に必要な賃金、負担金補助及び交付金も計上されている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	予算執行率	%	96.80	95.00	81.29	95.00
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	課内の各種業務					
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	円滑に実施される					
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。					
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成27年度に実施した国民文化祭の7つのメニューについては職員の見解を結集して取り組んだ。今後は、各方面から頂いたご意見等も参考に更なる芸術文化の振興に努めていきたい。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,816	26,812	21,787	359
投入量	事業費	千円	2,816	26,812	21,787	359

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
消耗品の購入及び公用車の管理、並びに国民文化祭に係る経費の支出については計画通りに実施されたものとする。	国民文化祭経費については、計画に沿って事業を進めながら、経費削減を図り、全体で約19%の経費の削減を実施することができた。

事務事業コード	0110060600020101	事務事業名	文化振興総務管理事務事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	最低限の経費で行っており削減はできない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	最善の手段で事務を行っており削減はできない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続				休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成27年度をもって国民文化祭が終了したことにより、予算については大幅に削減しており、今後の支出も必要最低限に抑えながら事務に取り組むこととする。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	限られた予算であること認識し、適正な予算執行に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	011006004040102	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5204		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等		
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市の四季に富んだ自然風景、伝統行事、祭り、景色、産業、人々の暮らし、環境に関するもの、ジオパークなどを捉えた自由部門と、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を様々な角度から捉えるエアポート部門を加えた写真を公募することで、写真に対する関心を深めてもらう。また、応募された作品の中から優秀作品を展示することで、多くの市民が霧島の魅力を再発見する機会となり、郷土への愛着を深めていただくきっかけにつながる。(応募作品撮影期間 1月～12月)

手順 ①開催要項の決定  
 ②募集チラシの作成・広報  
 ③応募作品の審査  
 ④優秀作品の展示・表彰 (各地区の巡回展も開催する)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア	出品点数	点	452	500	446	500		500
イ								
ウ								

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア 市民	写真展鑑賞者数	人	4,480	4,550	5,410	5,500		6,000
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア 写真に対する関心を高めてもらう	写真展出品者数	人	150	160	153	250		270
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	出品者に占める霧島市民の割合	%	41.33	43.00	42.48	45.00		47.00
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

旧国分市の市制50周年を記念し、地域の名所等を題材とした写真展を開始した。デジタルカメラや携帯電話の普及により、いつでも、どこでも気軽に撮影できる環境が整ったことにより、今後も多くの市民の参加が見込める。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	31年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	240	170	234	440	340	
	一般財源	千円	284	361	293	95	334	
事業費		千円	524	531	527	535	674	
投入量								

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
展示期間 平成28年3月1日～3月15日 (ジビックセンター市民ギャラリー) 巡回展 平成26年3月16日～6月29日 (8会場) 応募総数 446 点 応募者数 153 名	年々、幅広い年齢層から応募をいただくことから、フォトコンテストに対する認知度が高まっていると考える。また、上位入賞作品を市内各地で展示することで、文化に親しむためのきっかけになっている。



事務事業コード	0110060604040102	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	多くの市民が写真に対する関心を高めることは、芸術文化活動に取り組むきっかけになることに結びついている。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	テーマを霧島に特化した写真展は他に無く、また、入賞した作品の版權が霧島市に帰属するため、パンフレットなどのPR用としての利活用もできる。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	スマートフォン等の普及もあり、ふるさとの風景や人々の営みについて誰もが「奇跡の一瞬」を記録できる環境にあることから、応募者や鑑賞者が増えていく可能性はある。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	スクラップアンドビルドにより、フォトコンテストに代わる手段が構築されれば影響は大きくないと思うが、単に廃止するとなると市民が芸術文化に親しむ機会を失うこととなり、フォトコンテストが認知されつつある現時点においては、影響が大きい。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	<table border="1"> <tr> <td>類似事業がある場合の事務事業名等</td> <td>民間団体の各種写真展</td> </tr> </table> 民間団体が主催する各種写真展はあるが、必ずしもその事業の目的が市民の郷土愛の増進と芸術文化活動のきっかけづくりにつながっているとは言えないため、統合又は連携は難しい。	類似事業がある場合の事務事業名等
類似事業がある場合の事務事業名等	民間団体の各種写真展		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は写真展の周知、公募を図るためのチラシの作成と写真審査や入賞者への報償費が主な内容であり削減の余地はない。但し、出品料をいただくことと、ポストカードとして販売することで、一部財源に充てている。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	文化協会の写真同好会等を実行委員会にして取り組むことも考えられるが、事務局を主管課におく以上、業務時間の削減にはつながらない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く市民に広報、写真の公募展とし、応募者から出品料を取り、一部の市民の写真展ではないので公平・公正である。また、入賞作品を市民ギャラリーに展示したり、各地区での巡回展を行っている。	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	出品数の増加を図るために効果的な広報手段を検討する。受賞作品を霧島市の様々なPR活動に活用するよう周知する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	一人当たりの出品限度数の見直しについて検討する。出品作品の基準を統一できるよう検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01100606040103	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5204		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 関連計画		
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

全国の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する一般部門と市内の園児、児童生徒から絵画を募集するジュニア部門の2部門を開催している。13名からなる実行委員会を組織して次のような業務を行う。  
 ①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) (9月上旬)一出品料 1点につき 2,000円  
 ③審査(9月中旬) ④入賞作品展示→表彰式(10月上旬)  
 ⑤搬出(10月下旬) ⑥巡回展(松下美術館、その後ジュニア部門は市内施設で実施)(11月～2月)  
 ⑦実行委員会(精算事務)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	出品点数	点	3,073	3,100	2,457	2,600
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 市民	美術展鑑賞者数	人	3,880	4,000	4,015	4,100
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 美術展に出展する	美術展出品者数	人	2,979	3,000	2,369	2,400
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	出品者に占める霧島市民の割合(一般部門)	%	62.63	64.00	59.47	62.00
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成16年に旧国分市制50周年を記念して「国分美術展」が、平成元年に旧霧島町において「霧島を描く8号洋画展」として開始された。出品者数も増加しており、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。ジュニア部門にも理解をいただき、多くの幼児及び小中学生が応募してくれている。議会から、「絵画、写真、彫刻、書等の常設展示館的なもの考えはないか。」「霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか」との意見がある。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,270	1,570	1,570	1,270
	事業費	千円	1,270	1,570	1,570	1,270

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
一般部門は、平成25年度から市ホームページや九州内の美術館にポスターを掲示し全国公募とした。ジュニア部門は、市内の幼稚園・保育園、小中学校へ出品を働きかけ、周知を図った。 また、ジュニア部門の審査を各小中学校の図工、美術担当教諭に公開し、指導力向上を図る機会とした。 ・展示期間 平成27年10月3日～10月16日 ・応募総数 2,457点 ・応募人数 2,369人	今年もジュニア部門の審査風景を小学校、中学校の図工美術担当教員に公開したが、参加が芳しくなかった。審査が、平日の昼間に行われるため、授業との関連で参加が難しいと考えられる。入賞作品の展示期間中、実行委員が交代でパンフレットの配布、会場案内を行い、多くの市民に美術展を身近なものとして感じてもらった。

事務事業コード	0110060604040103	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が美術展を鑑賞したり出展することは、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られることに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が事務局として関与することで、初心者でも応募しやすいという利点もあり、当分の間、実行委員会方式で市がリードすべき事務事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	まだまだ広がりを見せる可能性のある美術展であるが、広がるほどに事務局の負担は増大している。ある一定の規模で抑えながら、美術展期間中に簡単な絵画入門講座を開くなど実技面からの手段を導入することで、鑑賞者の関心も高くなると考える。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	美術展に対する関心や応募者数は年々向上の傾向であることから、本事業を廃止又は休止した場合、文化の向上や地域活性化に与える影響は大きい。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 民間団体等の美術展 民間団体等の美術展は多数あるが、その目的や歴史を鑑みるとき、一概に統合又は連携はできない。なお、松下美術館の水墨画展とは双方の施設にて巡回展を行っているため、その部分だけは連携できている。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	実行委員会への委託方式だが、ほぼ事業実施に係る直接経費のみであり削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現段階では外部への事務局運営を含めた全部委託は難しいため削減できない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	出品料を徴収しており、展示会は無料で実施していることから公平公正である。なお、ジュニア部門の出品料は無料である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	ジュニア部門への出品数が多く、審査に長時間要することから、各学校における出品数を限定する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	現在、「一般部門」と「ジュニア部門」の2部門を設定しているが、新たな出品者からの公募を増やすため更なる部門を設定できないか実行委員会に意見を求める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01100606040106	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5204		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等		
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の文化施設や学校で、青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を養成する。平成25年度から、生徒芸術鑑賞会事業、青少年劇場開催事業、舞台芸術鑑賞事業を統合し、児童生徒芸術鑑賞会事業とする。

事務手続き  
 県への開催希望申請 → 内定  
 学校との調整(日程調整・送迎バスの調整等)  
 実施  
 (平成27年度振返りシート作成時から、対象のうち市民を削除、霧島市内の中学生の対象指標を変更)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	13	13	13	13
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 霧島市内の中学生	霧島市内の中学生の数	人	3,840	3,813	3,717	3,628
イ 霧島市内の小学生	霧島市内の小学生の数	人	7,382	7,437	7,414	7,437
ウ						

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	観劇した児童生徒数	人	5,244	5,300	5,727	5,400
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	観劇した児童生徒の割合	%	46.72	47.00	51.45	48.80
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成8年度から、溝辺地区内の中学生の芸術鑑賞事業として開始された。合併後は、全小中学生を対象に3年に一度鑑賞機会があるように実施している。学習指導要領の改正で、特に中学生においては芸術鑑賞等に使える時間が減少している。「青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常にすばらしいことである。」という市民の意見がある。

4. 事業費の推移

単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	0
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0
	一般財源	千円 4,048	4,717	4,080	4,508
	事業費	千円 4,048	4,717	4,080	4,508

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1 青少年劇場「サキタハジメのこぎり音楽」7公演(小学校12校) 牧園小(三体小・方膳小)、陵南小、宮内小、天降川小、国分西小、牧之原小(福山小)、国分北小(川原小・木原小) 3,143人 2 生徒芸術鑑賞会「おとどけコンサート」4公演(中学校4校) 陵南中、国分中、木原中、国分南中 1,281人 3 劇団「四季」こころの劇場「むかしむかしゾウがきた」小学6年生全員 市民会館 2回公演 1,303人	左記以外にも、文化庁主催事業の採択により、天降川小学校のバレエ鑑賞で480人、富隈小学校の三味線鑑賞に613人、鹿児島県主催事業で日当山中学校が声楽鑑賞を行い369人が観劇した。これらを含めると、全児童生徒中、3人に2人は何らかの芸術に触れ機会を持つことができた。

事務事業コード	0110060604040106	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	【参考：昨年度の内容】 児童生徒が芸術に対する興味、関心を持つことは、芸術文化活動に取り組むきっかけづくりに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	【参考：昨年度の内容】 社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興をとおして、児童生徒の豊かな心を醸成することは、市の責務である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	【参考：昨年度の内容】 小中学生は鑑賞した生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、内容を工夫することでさらに成果が向上する余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	【参考：昨年度の内容】 小中学生の芸術鑑賞機会が減少することで、芸術文化活動に新たに触れたり、取り組むきっかけがなくなる恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 他の民間団体の主宰する芸術鑑賞事業 【参考：昨年度の内容】 一流の文化芸術事業に触れるような事業はない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考：昨年度の内容】 県の事業を利用していることや、単独実施でないツアーや南九州の他の市町村と連携して実施することで旅費などの経費削減に努めており、これ以上の削減余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考：昨年度の内容】 鑑賞会実施までは学校と公演団体や県との調整をする事務が主であり、職員以外の対応や委託はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	【参考：昨年度の内容】 全小中学生に対し、3年に一度の鑑賞機会があるように実施している。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	毎年度対象校をローテーションで設定しているが、各対象校との連絡体制が毎年度変わることから、事業のマニュアル化を周知徹底する。						
	児童生徒がプロによる演奏や舞台などに接する更なる機会の創出について検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040201	事務事業名	霧島市民芸保存会連絡協議会運営支援事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ		
基本事業名	02	文化関係団体の育成		内線番号	5201		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会の提供を行う。 主な業務の内容 ①郷土芸能保存活動事業費補助金(運営補助) ②イベント等への出演依頼(天孫降臨霧島祭、各地区の文化祭、学校行事等) ③第5回霧島市郷土芸能祭の開催 → 実行委員会方式で開催 郷土芸能保存団体の活動 ①郷土芸能の保存継承 ②地域の行事やイベントでの郷土芸能の発表						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	運営補助している郷土芸能保存会の数(運営補助している団体数)	団体	13	14	26	26
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 保存団体	霧島市内の郷土芸能保存団体数 (活動休止中の団体も含む。)	団体	40	42	41	42
イ 市民	人口	人	126,773	129,360	129,360	129,679
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 郷土芸能が保存・継承される	団体の会員数が増えた団体数	団体	3	1	2	1
ア 伝統文化にふれる機会を持つ	団体の発表の数	回	31	31	25	31
イ 伝統文化にふれる機会を持つ	霧島市郷土芸能祭を鑑賞した市民の数	人	620	0	0	0

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 郷土芸能を継承し広める。	郷土芸能保存会の団体数	件	36	40	36	40
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	
本事業は、郷土芸能がそれぞれの地域で連続と受け継がれてきた貴重な無形文化財であり、その活動を支援するとともに、後継者を育成するために始められた。現在は、保存会会員の高齢化が進み、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。 地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,009	949	949	959
投入量	事業費	千円	1,009	949	949	959

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>霧島市民芸保存会連絡協議会を新たに組織し、保存会との連携や活性化を図った。</li> <li>理事会の開催 2回</li> <li>連絡会(全体会)の開催 1回</li> <li>各保存会へ活動支援のための補助金を助成した。</li> <li>各地区の行事(運動会、文化祭)等に郷土芸能の出演の機会が増えるように配慮した。</li> <li>郷土芸能保存団体活動の予定表を作成し周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡協議会を組織したことで、保存会同士の交流が図られるようになった。また、事務局(文化振興課)との連携が密になることで、各種情報を提供することができ、保存会への助成事業の活用が図られるようになった。</li> <li>補助金を支給することにより、各保存会が円滑に活動することができた。</li> <li>市内の行事やイベントに出演を斡旋し、市民に鑑賞する機会をふやすことができた。</li> <li>保存団体の出演予定を記したパンフレットを市民に配布し周知を図ることで、郷土芸能を観覧する人々が増えた。</li> </ul>

事務事業コード	0110060704040201	事務事業名	霧島市民芸保存会連絡協議会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	保存団体が郷土芸能を保存継承することは、地域の伝統的文化を後世に遺すとともに、郷土芸能を広めることに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、特に伝承者が途絶えると復活が困難である郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	高齢化に伴う後継者不足が切実な問題となっているが、会員数が増える団体が出てくれば、本事業の成果は向上すると思われるので、さらに、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行っていきたい。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 単人町民芸保存会運営支援事業 平成27年度から単人町民芸保存会運営支援事業と統合し、新たに「霧島市民芸保存会連絡協議会運営支援事業」とする。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	合併以来保存会への運営補助は大幅に削減してきており、これ以上削減することは厳しい状況である。また、保存会への支援が消滅した場合、運営が困難になり存続が危ぶまれる恐れがある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上の出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・統合					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成27年度に設立した本協議会への加入促進に取り組む。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	先進地の活動状況について調査研究を行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	011006060400201	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部	
				担当課	文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸	
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ	
基本事業名	02	文化関係団体の育成		内線番号	5204	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 55 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市補助金等交付規則等	
	項	06 社会教育費				
	目	06 文化振興費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

財団法人ジェスク音楽文化振興会に霧島国際音楽祭の運営補助金を支出している。  
 【活動内容】  
 霧島国際音楽ホールを主会場として国内外で活躍する講師陣による講習会と演奏会を開催している。  
 期間 7月15日から8月2日(19日間)

主催 財団法人ジェスク音楽文化振興会・鹿児島県・公益財団法人鹿児島県文化振興財団  
 共催 霧島市 後援 霧島市教育委員会  
 【事務事業】  
 補助金交付に係る諸手続き、文化振興会活動に対する指導・助言

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	音楽を鑑賞した人数	人	17,275	18,000	16,186	18,500
イ	受講生の数	人	157	160	156	170
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,773	129,360	126,842	126,232
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 文化関係団体へ加入する	合唱及び吹奏楽等の団体加入者数	人	102	120	132	120
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 芸術文化活動を通じ、親睦や交流が図られ、団体が活性化される。	芸術文化団体の団体数	人	189	224	181	185
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

1980年鹿児島県の音楽文化向上のため講習会と演奏会を組み合わせた音楽祭がスタートした。平成6年第15回霧島国際音楽祭から霧島国際音楽ホールを主会場として開催されている。合併当初に比べると、市民の音楽祭への認識度は高まりつつある。国内外で評価の高い音楽祭であるが、今後も演奏会へのより一層の集客を図るため、市民に親しまれる演奏会となるよう、内容検討を図る必要がある。霧島国際音楽祭が今まで以上に市民の間に定着するよう、積極的に周知・広報に取り組んでほしい。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,060	7,060	7,060	7,060
	事業費	千円	7,060	7,060	7,060	7,060

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
期間 平成27年7月15日～8月2日 コンサート 公演 マスタークラス(講習会) 回 観客数 人 受講生 人	36回を迎え、おなじみとなった霧島温泉郷のホテルでのロビーコンサートや、様々な施設を活用したミニコンサートなど、市民が一流の音楽に触れる機会が数多く創出された。

事務事業コード	0110060604040201	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由		
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が霧島国際音楽祭の鑑賞をきっかけに文化関係団体へ加入することは、親睦や交流が図られ、団体が活性化することに、間接的に結びついている。		
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に優れた芸術の鑑賞機会を提供することは、文化の香り高いまちづくりに必要である。		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民が一流の音楽に触れることで、それをきっかけに合唱及び吹奏楽等の団体へ、新たに加入しようとする人を増やすことは可能である。		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島国際音楽祭は国内外で高い評価を得ており、これまで30年以上の歳月をかけて、「音楽の街・霧島」を作り上げてきた。このような状況の中で廃止・休止することは、街づくりにマイナスイメージを与える。		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	<table border="1"> <tr> <td>類似事業がある場合の事務事業名等</td> <td>他市町村で行われている国際音楽祭</td> </tr> </table> 県外まで範囲を広げると別だが、少なくとも県内にはこの規模の音楽祭はない。	類似事業がある場合の事務事業名等	他市町村で行われている国際音楽祭
	類似事業がある場合の事務事業名等	他市町村で行われている国際音楽祭		
⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	全体事業費の自主財源率は90%を越えているが、主催者の経費削減の努力や有料公演会の観客を増やすことで削減の可能はあるが、長年の行政としての関わりを考慮すると削減できない。			
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の業務としては、補助金交付の手続き並びに広報、地元開催(ロビーコンサート)の補助などであり、音楽祭運営には直接携わっていないため、今以上の業務時間の削減はできない。		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受講生からは受講料を徴収し、演奏会については入場料を徴収している。公演会の開催等は広く市民に周知しており公平・公正に運営されている。		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島国際音楽祭は毎年多彩なメニューで開催されているが、より充実したものとなるよう提言していく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	より収益性、集客力のあるメニューとなるよう提言していくことにより、霧島市からの補助金が有効的に使用されるよう取り組む。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060604010202	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化		
基本事業名	02	文化関係団体の育成		内線番号	5204		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 8 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等		
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

文化振興課が所管する霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島神楽振興会は、その自主活動を通じて霧島市の芸術文化振興に寄与していることから補助金を交付しその運営の安定化を図っている。特に、文化協会は旧町ごとに支部があり、185団体、約3000人の会員を抱える最大の団体であります。平成25年度までは、溝辺たかや太鼓保存会も存在していたが、現在、活動を休止していることから補助対象から外れている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	文化協会による文化事業への参加団体数	団体	190	180	185	180
イ	演奏会等の出演回数	回	5	5	5	5
ウ	神楽公演回数	回	16	20	15	20

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,773	129,360	126,842	126,232
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行う。	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行った人の割合	%	75	75	76	75
イ 合唱を通して、心豊かな青少年育成と音楽文化向上を図る。	少年少女合唱団員の数	人	49	50	47	50
ウ 霧島神楽を伝承する	公演及び練習に参加した人数	人	720	1,000	630	700

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 芸術文化活動を通じ、親睦や交流が図られ、団体が活性化される	芸術文化団体に所属している人の数	人	3,128	3,600	2,355	2,400
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

文化協会は合併を機に設立され、旧市町の文化協会は支部として活動しているが、会員の減少に伴い活動がむずかしい支部も出てきている。少年少女合唱団は、学校週5日制(隔週)の導入に伴い、平成8年度に旧国分市で結成されたが、市内全体の児童生徒が加入しやすいしつけをして欲しいという保護者の声もある。霧島神楽は、旧霧島町で270年前の古文書が見つかり、記述をもとに復活させた。地域住民から霧島神楽を守り伝えていってほしいという意見が寄せられている。

4. 事業費の推移

単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	0
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0
	一般財源	千円 2,124	2,124	2,124	2,124
	事業費	千円 2,124	2,124	2,124	2,124

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
3団体ともに平成27年度報告においても、運営上で指導助言を行うべき事例がないことから、運営は安定していると思慮する。追記として、文化協会単人支部が今年創立40周年を迎えた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化協会は、毎年行っているチャリティーショーに今年も800人を超える参加があったこと、各支部ごとの文化祭においても地域の特性を生かし、多くの市民の参加をいただけた。</li> <li>少年少女合唱団は、県の合唱祭や白い歌唄い歌フェスティバルへ参加したほか、各種文化団体の主催事業へ賛助出演し、青少年の豊かな心の醸成を行うことができた。</li> <li>霧島神楽振興会は、南九州神楽まつりや郷土芸能の夕べに出演し、市内外へ向けて伝統芸能が継承されていることをPRできた。</li> </ul>



事務事業コード	0110060604040202	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	【参考：昨年度の内容】 市民が会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行うことは、芸術文化活動を通じ、親睦や交流が図られ、団体が活性化することに結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	【参考：昨年度の内容】 文化活動の支援、合唱を通じた児童生徒の育成、無形民俗文化財の継承のため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	【参考：昨年度の内容】 発表・展示・参加の機会を増やしていくことで、活発で充実した活動に取り組むことができる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	【参考：昨年度の内容】 文化活動の担い手がなくなり、合唱団等活動が停滞することで市民生活に潤いが無くなる。無形民俗文化財が一度途絶えると復活は非常に困難になる。このようなことから、継続していく必要がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等  【参考：昨年度の内容】 継続して文化芸術団体を支援する事業はない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考：昨年度の内容】 文化協会や神楽振興会は活動の状況から、会費値上げや補助金の削減は厳しい。合唱団については自主財源率80パーセント超であり、妥当である。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考：昨年度の内容】 補助金の交付事務と主な行事の補助であり、最小限の事務量である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	【参考：昨年度の内容】 文化協会は、会員それぞれが協会費を負担している。合唱団は市内の全学校の児童生徒を対象にしている。神楽については、郷土芸能という国民共有の財産であることから、行政支援は妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	会員の増加を図るよう提言するとともにサポートする。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	活動内容の効率化を図り、限られた予算の中でより充実した活動ができるようサポートする。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040302	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ		
基本事業名	03	文化財の保存・整備		内線番号	5201		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 62 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	鹿児島県文化財保護条例、霧島市文化財保護条例	
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。  
 (市の活動)  
 ・文化財の修復、整備、養生の実施  
 ・文化財周辺の環境整備及び案内板の設置  
 ・県指定文化財 「高座神社・イチイガシ」の養生  
   「福山のイチヨウ」の樹木診断、剪定  
 ・市指定文化財 「堅神社の田の神」の修復

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 整備した文化財の数	件	4	3	4	4
イ 設置した文化財説明板・標柱の数	カ所	8	10	13	10
ウ 環境整備を実施する文化財の数	件	46	52	46	52

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市内の文化財	市内文化財の数	カ所	704	700	704	704
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 修復、復元、養生を実施する	環境整備を実施した文化財の数	件	4	3	4	4
ア 文化財について解説し、正確な情報を提供する	設置した文化財説明板・標柱の数	部	8	10	13	10
ア 清掃等周辺整備を行う	環境整備を実施した文化財の数	件	46	52	46	52

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 適切に保存され後世に遺す	整備している文化財の数(累計)	件	167	162	167	164
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

- ・市内にある文化財を後世に残すため、文化財を保護(環境整備も含む)する。また、見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。
- ・文化財の経緯等が、説明板でわかった。
- ・草払いや掃除で、きれいになった。
- ・案内標柱を設置して欲しい場所がある。天然記念物(巨樹・老木)の調査を実施してほしい。また、その管理について個人負担が大きい場合は霧島市からの助成はできないか検討してほしい。

4. 事業費の推移

単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 307	600	590	600
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 0	0	0	0
	一般財源	千円 2,997	3,029	2,967	3,198
事業費	千円 3,304	3,629	3,557	3,798	
投入量					

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の環境整備(清掃委託)</li> <li>・案内看板および標柱の設置</li> <li>・県指定「福山のイチヨウ」の樹木診断、剪定</li> <li>・県指定「田中家別邸」の修復</li> <li>・市指定「佳例川の藤」の養生、剪定</li> <li>・市指定「羽山神社の杉」の養生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財周辺を定期的に草払い等を実施することで、文化財の保存と見学しやすい環境を保った。</li> <li>・市内の天然記念物について樹木医による診断を行った。その結果、市指定「佳例川の藤と羽山神社の杉」の養生が必要と判断したので、その養生、剪定を行った。樹木にとっても早めの対応ができたので、これからも定期的な巡回診断を行ってきたい。</li> <li>・文化財を後世に良好な状態で遺すため、修復・養生を行った。</li> </ul>

事務事業コード	0110060704040302	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由		
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市内の文化財の修復、復元、養生等の整備を図り、文化財説明看板で見学者へ情報提供することは、文化財を適切に保存し、後世へ遺すことにつながる。		
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である。当市の財産を整備し、広く市民へ知らしめ、後世へ残していくことは市の重要な責務である。		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	年度毎に文化財の周辺整備(清掃等)を行い、説明板等を順次整備していくことで、本事業の成果を向上していくことができる。		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	文化財の滅失や損傷、樹木の倒壊などの危機にさらされることはもちろん、見学者への情報提供もされず、市民の文化財愛護思想の低下につながる。		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	<table border="1"> <tr> <td>類似事業がある場合の事務事業名等</td> <td>県指定文化財鹿兒島神宮社殿修復事業 重要文化財霧島神宮社殿調査事業</td> </tr> </table> <p>鹿兒島神宮、霧島神宮の社殿は経年劣化が見られ、定期的な修復とその事前調査が不可欠である。これは、当事業の目的にも合致していることから、統合の方向で検討したい。</p>	類似事業がある場合の事務事業名等	県指定文化財鹿兒島神宮社殿修復事業 重要文化財霧島神宮社殿調査事業
	類似事業がある場合の事務事業名等	県指定文化財鹿兒島神宮社殿修復事業 重要文化財霧島神宮社殿調査事業		
⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、文化財の保存のために必要不可欠な修復、養生を実施している。今後、文化財活用や経年劣化等による修復、修繕、養生が増加の傾向であることから、これ以上の削減余地はない。			
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事業は概ね委託により実施している。事業に関する人件費については、少人数で仕様書作成、委託先選定、契約事務、検査を行っており、節減・節約はできない。		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は国民共有の財産であり、受益者は広く市民となるため、公平・公正である。		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	文化財の説明看板及び標柱について、統一仕様書(規格、色合い、基礎など)に基づき、市内全域で一貫性のある環境整備を行う。史跡等の草払い、除草等について、発注時期を見直し実態に即した環境整備を行う。(一括発注から分散型へ)						
	説明看板、標柱は全地域公平に年次計画に沿った予算執行を行う。地域から補修の要望がある文化財について、各種助成事業を活用して後世に遺し続けられるよう努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040303	事務事業名	文化財保護審議会運営事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ		
基本事業名	03	文化財の保存・整備		内線番号	5202		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	文化財保護審議会条例	
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

①所掌事項  
文化財の保存、活用に関する重要事項について、調査、審議し、その結果を教育委員会に建議する。  
②委員構成  
本市の文化財に関し高い見識を有する方、13人で構成。  
③年間の会議開催回数  
3回(そのほか、県、地区の研修会に参加)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	審議会の開催回数	回	3	3	3	3
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 本市の文化財	国、県、市の指定文化財の件数	件	125	126	125	126
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 市民に知ってもらう	きりしま歴史散歩の応募者数(年間延べ人数)	人	237	260	270	260
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 適切に保存され後世に遺す	整備している文化財の数	件	167	162	167	164
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

市民から文化財を観光資源として活用していくべきとの意見がある。また、シルバー人材センターが観光ガイド養成事業に取り組むなど、文化財を観光資源として活用していこうとする気運が高まっている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	240	455	345	398
	事業費	千円	240	455	345	398

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
文化財保護審議会の開催 ①7月8日(水) 平成27年度文化財保護行政について 空順上人石室、鼻んす、日秀神社、現地視察 ②10月22日(木) 霧島神宮現地調査(二十四孝壁画) ③2月12日(金) 平成27年度文化財保護行政の成果と課題について 現地視察「福山の小みかん」	・霧島神宮社殿造営300年記念に併せて、本殿壁画「二十四孝」の拝観があり、審議会委員による現地調査を実施した。 ・福山の小みかんの衰弱状況を確認し、今後の指定文化財としての取扱いについて協議した。



事務事業コード	0110060704040303	事務事業名	文化財保護審議会運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	本市の文化財を市民に知ってもらうために、審議会委員が文化財の保存、活用について調査、審議することで、それぞれの文化財の価値が高まり、適切に保存、継承されることに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財を守ることは法律で義務付けられており、それらについて審議会委員が行政に建議することは条例で定められている。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	委員の自主的な文化財パトロールや調査研究活動が活性化することにより、ある程度の成果向上余地はある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	文化財保護行政に、文化財について高い見識を有する委員の意見を反映できなくなるので大きな影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費は報酬条例等で定められた委員の会合に必要な最低限の経費である。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	開催日時の通知や当日の資料作成が主な事務内容であり、これ以上の工夫はできない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市全体の文化財を公平に取り扱っている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	委員の自主的な調査研究活動の成果を、委員全員で共有する時間を設ける。(審議会終了後の自主研究会など)						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	文化財保護行政に関する課題、問題点について、具体的なアドバイスがいただけるよう促していく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040305	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ		
基本事業名	03	文化財の保存・整備		内線番号	5201		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 11 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	地方自治法、文化財保護法	
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

大隅正八幡宮境内及び社家跡、大隅国府跡、大隅国分寺跡などの、本市において極めて貴重な史跡を後世に遺すために発掘調査を実施し、その成果を報告書としてまとめ、今後の史跡整備のための基礎資料とする。  
 また、国庫補助の対象となる個人または零細企業が実施する開発行為に対応するための発掘調査を実施する。  
 ① 弥勒院跡確認調査の実施  
 ② 国指定史跡「大隅正八幡宮境内及び社家跡」保存活用計画策定(～平成27年度)。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 範囲確認調査の数(整理作業含む)	件	2	2	0	2
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 保存・整備すべき遺跡	範囲確認調査を必要としている遺跡の数	箇所	1	2	0	2
イ 市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地	周知の埋蔵文化財包蔵地の数	件	530	530	530	530
ウ						

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 遺跡の範囲や遺物・遺構の残存状況を把握する。	発掘調査した面積	m <sup>2</sup>	30	20	0	30
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 適切に保存され後世に遺す	周知の埋蔵文化財包蔵地の数	件	530	523	530	523
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

本市にある貴重な史跡を調査し、その調査成果に基づいて整備を図り、後世に遺すとともに、緊急な発掘調査に対応することを目的として、平成11年から国庫補助を導入した。一時期に比べ、開発行為が増えてきており、確認調査及び工事立会いの件数も増加傾向である。  
 市民から「大隅国分寺跡地を史跡と市民公園を兼ねたものにしてほしい。大隅国分寺跡北側の市道拡張と埋蔵文化財保護との調整について早急に取り組んでほしい。」という声がある。

4. 事業費の推移

事業費	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
国庫支出金	千円	2,500	2,000	2,000	1,000
県支出金	千円	100	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	2,408	2,002	2,001	1,001
事業費	千円	5,008	4,002	4,001	3,000

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「大隅正八幡宮境内及び社家跡」保存活用計画策定</li> <li>保存活用計画策定委員会の実施 2回</li> <li>保存活用計画策定に伴う業務委託(図面測量・航空写真等) 保存活用計画書の策定 300冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大隅正八幡宮境内及び社家跡」保存活用計画策定委員会を開催し今後の保存や管理のあり方について協議を行った。</li> <li>委員や文化庁、県文化財課の指導のもと、「大隅正八幡宮境内及び社家跡」保存活用計画を策定した。</li> <li>今後、活用計画に沿って、史跡の調査や整備を進めていきたい。</li> </ul>

事務事業コード	0110060704040305	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	保存・整備すべき遺跡の残存状況や重要性を正確に把握することで、遺跡が適切に保存され遺ることに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	発掘調査によって、遺跡の範囲や遺構が新たに判明することにより、今後の保存や整備に結びつけられるので、成果の向上余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	発掘調査の作業のほとんどが手作業であり、また現地は市街地で住宅等に囲まれた場所も多く、大型機械の導入も難しいことから、作業効率も悪く事業費削減は厳しい。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ遺跡はその地域の歴史を色濃く残すものである。文化財の保存と活用は地方教育行政の組織及び運営に関する法律並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、これらのことを考慮すると、行政が実施することが妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	適切な保存、整備の周知徹底を行い、より迅速な対応に努める。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	開発行為によるものではない学術的な遺跡発掘調査を進め、適切な保存、整備を行う基礎資料とする。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0110060704040307	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部	
				担当課	文化振興課	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸	
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ	
基本事業名	03	文化財の保存・整備		内線番号	5201	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 6 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	款	10 教育費			根拠法令・条例等 霧島市立埋蔵文化財調査事務所の設置及び管理に関する規則	
	項	06 社会教育費				
	目	07 文化財保護費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

周知の文化財包蔵地内において、緊急な開発工事が発生した場合、埋蔵文化財の記録保存を目的として緊急発掘調査を実施する。また、霧島市の埋蔵文化財の発掘調査によって出土した資料などの保存・整理等を行なうため、さらには発掘調査の成果を市民等に周知をはかるため埋蔵文化財発掘調査事務所を設置した。

(事務事業の概要)

- ①緊急埋蔵文化財発掘調査の実施(民間・公共)
- ②埋蔵文化財発掘調査事務所の管理運営
- ③出土した遺物等の整理、保管
- ④本市の埋蔵文化財に関する情報発信

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 発掘調査・整理作業をした遺跡の数	件	5	5	3	5
イ 発掘調査によって収納した遺物の数(バンケース)	箱	7	25	1	25
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 遺跡の数	市内にある遺跡の数	件	530	530	530	530
イ 遺物の数	整理・保管してある遺物の数(バンケース)	箱	2,155	2,180	2,156	2,205
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 出土遺物を整理・保管する	整理作業・保管した遺物の数	点	79	100	50	100
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 適切に保存され後世に遺す	周知の埋蔵文化財包蔵地の数	件	530	523	530	523
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

開発に伴い埋蔵文化財が消失する場合は、その記録を保存するため、発掘調査を実施する。現在、開発行為に伴う発掘や工事立会いが増えている。

埋蔵文化財担当職員の減少や仕事量の増加によって、発掘調査を単年度で完了できなくなっている。出土遺物は年々増ってきており、その管理と保管場所が課題となっている。発掘調査の迅速な対応をして欲しいとの要望がある。また、出土した貴重な資料や報告書を調査研究のために公開してほしいとの要望がある。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	6,188	0	6,122
	一般財源	千円	19,621	7,719	5,621	4,143
事業費		千円	19,621	13,907	5,621	10,265

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財調査事務所の管理運営</li> <li>遺物等の整理・展示(郷土館等へ)</li> <li>民間及び公共事業に伴う発掘調査(試掘調査)の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>試掘調査 2件</li> <li>確認調査 1件</li> </ul> </li> <li>周知の埋蔵文化財包蔵地内における開発行為との調整                     <ul style="list-style-type: none"> <li>課初行為に伴う届出 27件(法93条・94条)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘調査や現地立会い等を実施することにより、埋蔵文化財の保存と事業の推進を図った。</li> <li>周知の埋蔵文化財包蔵地内における開発行為について、埋蔵文化財の保存と事業の推進を図った。</li> </ul>

事務事業コード	0110060704040307	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	開発行為に伴い破壊される遺跡の全容を記録保存するために実施する発掘調査や出土した遺物を整理、保管することは、文化財を適切に保存し後世に遺すことに結びつく。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	発掘調査の実施によって検出した遺構や出土した遺物を調査・整理・保管・管理することを主眼にしているが、今後は調査の成果を市民に周知することを含め、成果の向上余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	文化財は日本国民の歴史や文化を語る貴重な財産として後世に遺していかなければならないので、本事業の廃止・中止して、埋蔵文化財を破壊・消滅させることは、影響が大きい。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 市内遺跡確認事業 市内遺跡確認事業は国庫補助事業を対象としており、当該事業は開発行為との調整や発掘調査によって出土した遺物等の整理保管や報告書を作成する事務であり、統合はできない。
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	これまで、2ヶ所にあった調査事務所を運営面では1ヶ所に統合し、事業費の削減を図った。測量業務を民間委託することで効率化を図った。民間の発掘調査(本調査)の場合は、原因(民間)者から調査費を負担してもらっている。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、調査事務所には事務補佐員を配置しており、職員の業務は施設の維持管理及び資料整理の一部を担っており、業務時間の削減を図っている。一方、埋蔵文化財発掘調査業務(現地調査・整理作業・報告書作成含む)を民間委託することで、職員の事務量の軽減を図ることができる。但し、委託などに伴う費用は必要となる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は市民(国民)全体の役目であることから、本事業実施内容は公平・公正である。また、民間の開発に伴う発掘調査(本調査)は調査費を負担していただいているので公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	過去の発掘調査の成果を郷土館等に展示するなどして、市民へ還元する。そのことにより、一人でも多くの市民に文化財を守ることの大切さを訴えていく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	市内各種開発担当部局や民間事業者へ埋蔵文化財の保護について、引き続き理解と協力を求める。適切に民間委託を活用しながら、保護行政と開発行為のバランスを保っていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							







平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040308	事務事業名	県指定文化財鹿兒島神宮社殿修復事業		担当部	教育部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり			担当課	文化振興課	
施策名	04	文化の振興			担当課長	富永 博幸	
基本事業名	03	文化財の保存・整備			グループ	文化財グループ	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度)		
	款	10 教育費			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H21 ~ H27 )		
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
鹿兒島県指定文化財「鹿兒島神宮本殿 拝殿 勅使殿」の本殿にある壁画14面の修復を年次計画に基づき行う。 平成21年度 本殿壁画1面(花鳥図) 平成22年度 本殿壁画2面(花鳥図) 平成23年度 本殿壁画2面(花鳥図) 平成24年度 本殿壁画2面(花鳥図) 平成25年度 本殿壁画2面(花鳥図) 平成26年度 本殿壁画3面(花鳥図) 平成27年度 本殿壁画2面(唐獅子牡丹図2)						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	修復した壁画の面数	面	3	2	2	14
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	鹿兒島神宮本殿壁画					
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア	書かれた当時の状態に近付ける					
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア	適切に保存され後世に遺す					
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
鹿兒島神宮境内が平成25年度に国指定文化財になったことにより、注目度も高まり社殿等の文化財としての価値が脚光を浴びている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	973	323	323	216
事業費		千円	973	323	323	216
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
本殿壁画2面(唐獅子牡丹図)の修復(剥落止め)	・本殿壁画2面(唐獅子牡丹図)の修復(剥落止め) ・平成21年度から7年間かけて本殿壁画の剥落止め修復を実施してきた。今後は定期的(4年に1度)なメンテナンスを行い、壁面の維持管理をしていきたい。

事務事業コード	0110060704040308	事務事業名	県指定文化財鹿兒島神宮社殿修復事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？		鹿兒島神宮が事業実施主体となり、県、市の負担割合が定められているので削減できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？		市から事業実施主体へ補助金を交付する事務であり、職員以外ではできない。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	定期修復(4年に1回)を計画的に実施する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040309	事務事業名	重要文化財霧島神宮社殿修復事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ		
基本事業名	03	文化財の保存・整備		内線番号	5201		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等		
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
霧島神宮本殿、幣殿、拝殿、登廊下、勅使殿等は国の重要文化財となっている。本市では平成20年度から24年度までの5年間、国の補助金を活用し、社殿の修復事業を実施した。その後は将来的な国宝化も見据えて、各方面の専門家からなる「社殿調査検討委員会」を継続的に開催している。(今年度実施事業分から事務事業の名称を「霧島神宮社殿調査事業」へ改める。)						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	専門家による社殿調査回数	回	4	4	4	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	霧島神宮社殿					
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	文化財としての価値を高める					
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	適切に保存され後世に遺す					
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
霧島神宮造営300年の節目の年を向かえ、市内外から注目を集めている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	79	497	428	6,1080
	事業費	千円	79	497	428	6,1080

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
I 社殿調査検討委員会を開催 2回 各分野ごとの調査方針等について協議 II 各分野ごとの専門家による社殿調査を実施 1 民俗学 2名	・国宝化に向けて解決しなければならない課題を整理し、分野ごとの専門家の分担を決めながら、調査研究を進めることができた。 ・平成27年度は「霧島神宮と民俗」との関わり合いについて調査を行った。 「霧島神宮と民俗芸能」 「霧島神宮と霧島山岳信仰」

事務事業コード	0110060704040309	事務事業名	重要文化財霧島神宮社殿修復事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	調査研究にかかる費用は霧島神宮と折半しており、これ以上の削減は難しい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	文化財の保存は行政の責務であり、すべてを霧島神宮に任せることはできないので、人件費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各方面の調査の進捗状況を把握しながら、今後の調整を行っていく必要がある。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	霧島神宮の文化財としての価値を把握していく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060504040401	事務事業名	郷土館等管理運営事業	担当部	教育部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課		
施策名	04	文化の振興		担当課長	富永 博幸		
基本事業名	04	文化財の活用		グループ	文化財グループ		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 54 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例	
	項	06 社会教育費					
	目	05 郷土館費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷への造詣を深める。また、それぞれの郷土館等が持つ資料などを活用して、特別展等を実施する。併せて、市内の5つの郷土館等施設や文化財等のネットワークを図り、市内の特色ある歴史・文化に触れ、郷土への造詣を深めることを目的とし、郷土館等施設の入館者の増加に努める。

(事務内容)

- 郷土館等の管理・運営
- 企画展、巡回展の実施
- 青少年を中心とした体験学習の実施

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア	開館日数	日	305	308	306	308		308
イ								
ウ								

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア 地域住民(市民)	人口	人	126,773	129,360	129,360	129,679		130,000
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア 郷土館を訪れる	入館者数	人	5,379	7,000	6,607	7,000		7,200
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	6,930	9,000	8,259	9,000		9,200
イ								
ウ								

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、郷土館等を建設した。郷土館等の主催事業として、企画展、郷土館収蔵品展、体験学習などを積極的に実施しているが、入館者数は6000人～6700人と低迷している。霧島市には同様の施設が5館あり、今後統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。(教育委員会が平成20年3月に方針決定)  
議会からは、郷土館等の今後のあり方について質問があった。

**4. 事業費の推移**

事業費	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	31年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	525	438	598	438	438
	一般財源	千円	12,535	13,947	13,321	12,528	13,325
事業費	千円	13,060	14,385	13,919	12,966	13,763	

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別展の開催                      単人歴史民俗資料館                      「戦後70年霧島市の戦争遺跡」                      特別講演会の実施                      国分郷土館                      「単人の城～霧島市の城とそこに生きた人々～」                      特別解説講座の実施</li> <li>◆郷土館体験学習の実施 3回</li> <li>◆郷土館めぐりの実施 5回</li> <li>◆第11回美術展巡回展示 (ジュニア部門)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特別展の開催に併せて解説講座を実施し、担当者の説明によって展示内容をより詳細に周知することができた。</li> <li>◆郷土館を知ってもらうために、「郷土館めぐり」をそれぞれの郷土館等で5回実施した。地域の歴史をより具体的に周知することができた。</li> <li>◆文化財少年団による体験学習を通して、年中行事や昔の人々の作業を周知することができた。</li> <li>◆常設展示物の入れ替えや収蔵品等の保管状態等について点検を行うことで適切に管理することができた。</li> </ul>

事務事業コード	0110060504040401	事務事業名	郷土館等管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が地域にある郷土館等を訪れ、展示物(特別展も含む)を直接見学することで、郷土の歴史を正しく理解することに結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の歴史や伝統、文化について、市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めたり、貴重な資料を後世に遺す収蔵庫としての役目も郷土館は担っていることから市が担当する必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市民が関心のある特別展、解説講座、イベント等の実施や常設展示品の入れ替え等を行い、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。また、貴重な資料を後世に遺すため、最適な収蔵環境を整える必要がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	郷土の歴史や伝統、文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちをはじめ、市民の学習に影響する。また、収蔵されている資料(文化財)が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費については、施設を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。特に、燻蒸や警備などの委託事業については、まとめて入札を実施するなど、これまでコストの軽減に努めてきた。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は施設の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○	○					
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	郷土館等の整理・統合について、具体的な実施方法を検討するとともに予算化を行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040401	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ		
基本事業名	04	文化財の活用		内線番号	5201		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島市を知る」をテーマとした事業を展開し、文化財保護啓発事業を実施する。  
 (事業内容)  
 ①調査した文化財に関するハンドブックやパンフレットの作成、再版、販売 ②市報に「郷土史への扉」を掲載  
 ③「文化財保護強調週間」の周知化、「文化財防火デー」に合わせて、神社等による防火訓練の実施 ④縄文シティサミット等への参加  
 ⑤九州山岳霊場遺跡研究会の地元開催⑥文化財少年団活動の実施⑦きりしま歴史散歩の実施  
 ※基本事業の成果指標「郷土の歴史を学んだ人の数」は、郷土館等入館者数、史跡めぐり参加者数、文化財少年団団員数、山ヶ野ウォーキング参加者数、出前講座受講者数の合計である。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	広報活動・情報発信の数	件	7	8	10	8
イ	文化財防火訓練の実施	回	2	2	2	2
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	地域住民(市民)	人口	人	126,773	129,360	129,360	129,679
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア	文化財に関心をもってもらう。	パンフレット等を刊行した数	冊	1,500	5,000	0	5,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	6,930	9,000	8,259	9,100
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市の歴史や文化財を地域住民の方々に知ってもらい、文化財に関心を持ち、大切にすることを育むことを目的として「霧島を知る」事業を開始した。  
 合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまちとなった。  
 市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	97	681	744	809
		一般財源	千円	1,265	1,400	1,286	2,244
事業費		千円	1,362	2,081	2,030	3,053	3,053

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財少年団活動の実施 7回</li> <li>きりしま歴史散歩の実施 6回</li> <li>文化財防火デー防火訓練の実施 2ヶ所</li> <li>広報誌に「郷土史への扉」を掲載 10回</li> <li>市制施行10周年記念として、これまで市報に掲載してきた郷土史への扉をまとめた記録集を作成した。(市民運動推進事業と協働)</li> <li>文化財保護強調週間の周知化</li> <li>九州山岳霊場遺跡研究会の地元開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財少年団の活動やきりしま歴史散歩等を開催し、歴史への関心が高まり、本市の歴史文化の周知が図られた。</li> <li>文化財防火デーに伴う防火訓練の実施により、消防、地域住民、文化財の管理者の文化財保護に対する意識が向上した。</li> <li>郷土史への扉の掲載及び記録集の作成によって、本市の歴史の周知が図られた。</li> <li>九州山岳霊場遺跡研究会を本市で開催することで、霧島市の山岳信仰としての位置づけや霧島神宮社殿造営300年に合わせて、霧島市に対する関心度が高まった。</li> <li>平成28年度から山ヶ野ウォーキング大会開催支援事業を統合する。</li> </ul>

事務事業コード	0110060704040401	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が文化財に関心を持つことは、郷土の歴史・文化を正しく理解することに結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	文化財の啓発活動を行うことで、各開催事業への参加者が増え、これまで以上に文化財への愛護思想を高めることができる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 山ヶ野ウォーキング大会開催支援事業 その事務事業の対象や意図が類似していることにより平成28年度から山ヶ野ウォーキング大会開催支援事業を統合し、継続して実施していく。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在でも市報やホームページを活用して意識啓発を行っており、これ以上の削減余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事務補佐員を雇用や外部講師を依頼するなど職員の負担軽減に努めている。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。また、文化財少年団やきりしま歴史散歩等の市民参加型の事業は参加料を徴収するので公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・統合 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○			○		
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事業に郷土館等管理運営事業の中の文化財少年団関係と、市内史跡めぐり開催事業を統合し、より効果的な事務事業の実施形態とする。きりしま歴史散歩(市内史跡めぐり)は、市民のニーズを的確に捉え、より多くの参加者が本市の文化財等に触れることができるよう工夫する。山ヶ野ウォーキング大会開催支援事業を統合し、従前のとおり継続して実施する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	文化財を守ることはもちろん、市民の郷土愛を醸成するため、意識啓発、文化財の活用に力を入れていきたい。山ヶ野ウォーキング大会開催支援事業を統合したことによる弊害がなかったか確認する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	教育部	花堂 誠		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○			○		
(2)総評	市内の文化財を広く紹介する取組のうち類似の形態の事業を統合することによって、わがまちの歴史を学ぶ機会を継続的に実施し、市民の郷土の歴史への興味・関心を高め、文化財を大事にする心を醸成することが必要である。						





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060704040402	事務事業名	山ヶ野ウォーキング大会開催支援事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	文化財グループ		
基本事業名	04	文化財の活用		内線番号	6382		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 14 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	06 社会教育費					
	目	07 文化財保護費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

山ヶ野金山史跡めぐりとしてウォーキング大会を実施することにより、金山史跡とふるさとの香りを味わいながらウォーキングを楽しんでいただくとともに、地域の活性化を図る。また、中学生による案内を実施することにより、生徒が地域の歴史を学ぶことで、郷土に誇りを持つとともに、参加者も案内に真剣に耳を傾けることで、より地域や歴史を正しく理解することができる。

(事業内容)  
 ①山ヶ野金山のウォーキング ②中学生による案内(説明) ③地元地区民による湯茶の接待 ④郷土芸能の披露  
 ⑤山ヶ野地区内の整備清掃活動  
 (業務内容)  
 ①補助金交付に係る諸手続き

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	地元ボランティア・実行委員会員数	人	270	300	330	
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 霧島市民	人口	人	126,773	129,360	129,360	
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 山ヶ野金山について歴史・文化を正しく理解していただく	ウォーキング参加者	人	370	350	291	
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	6,930	9,000	8,259	
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

山ヶ野金山を活かした地域おこしの一環として14年度から山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会を組織して実施している。

①参加者の申込が年々多くなってきている。  
 ②地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によるこぼれ、山ヶ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	450	450	450	0
事業費		千円	450	450	450	0

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域主導型の実行委員会を組織して大会を運営している。</li> <li>山ヶ野地域を中心とした地域住民がボランティアとして参画して、昼食提供、各ブースでの湯茶や郷土料理(がね、漬物)のおもてなし、安良神社での郷土芸能の披露などを行っている。</li> <li>中学生がガイドを行うため、事前学習は学校関係者や郷土史研究家の方々の協力のもとおこなっている。</li> </ul> 参加者:291名 ボランティア:330名	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民とボランティアが協働してウォーキング大会の運営に携わっており、地域の活性化と文化財の活用が図られた。</li> <li>中学生がガイド役を務めており、参加者からは好評を得た。また、地元の小学生を招待するなどして、後継者育成も図られている。</li> <li>安良神社において郷土芸能を披露しており、地域の郷土芸能を周知することができた。また、保存会の活性化や後継者育成にもつながった。</li> <li>参加者の固定化と参加人数の制限が今後の課題であるが、本事業の主旨や事業内容を鑑みた場合、非常に難しい課題でもある。</li> <li>地域住民の高齢化が進んでおり、今後ボランティア活動が懸念される。</li> <li>平成28年度から文化財保護啓発事業に統合する。</li> </ul>

事務事業コード	0110060704040402	事務事業名	山ケ野ウォーキング大会開催支援事業	担当部	教育部
			業	担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が山ケ野金山について歴史・文化を正しく理解することは、文化財を学び郷土の歴史を正しく理解することに結びつく。	
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	山ケ野金山ウォーキングの開催に際し、参加者数、案内説明場所、コース設定、山ケ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より効果を上げるため実行委員会で検討している。今後は参加者の募集だけでなく、地域住民ボランティアの高齢化が進んでいることから、公募を検討するなど、新たな視点で進める必要がある。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、山ケ野地域の活性化の後退や、金山関連の文化財の環境整備が悪化する恐れがある。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	<table border="1"> <tr> <td>類似事業がある場合の事務事業名等</td> <td>文化財保護啓発事業</td> </tr> </table> 市民に対して文化財に関心を寄せるきっかけになる事業として、文化財保護啓発事業があり、平成28年度に統合する方向である。	類似事業がある場合の事務事業名等
類似事業がある場合の事務事業名等	文化財保護啓発事業		
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	地域住民(中学生～高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の3分の2以上を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。	
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金交付に係る諸手続きを実施している。実行委員会については、臨時職員を実行委員会で雇用しており、当日は約270名のスタッフもボランティア(市職員を含む。)であり、人件費の削減は十分に実施している。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の案内については、市報・チラシなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。また、参加者は参加費を出していることから、公平である。	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善・統合					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)							
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0110060604019903	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5204		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 42 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等	霧島市民会館の設置及び管理に関する条例	
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

自主文化事業の企画、運営も含め、「(株)舞研」に管理、運営を委託している。  
 修繕は年間おおむね100,000円までは、指定管理者の負担、それを超える部分は市の負担となっている。(基本協定書第15条第2項)

[施設の概要]  
 開館日 昭和42年7月19日(平成11年10月16日リニューアル)  
 延べ床面積 4,472㎡  
 座席数 固定席1,044 うち車椅子席6 親子席12  
 休館日 毎月第1日曜日、年末年始 開館時間 午前9時～午後10時

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	利用者数	人	64,500	65,000	72,436	68,000	68,000
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市民	人口	人	126,773	129,360	126,842	126,232	126,500
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 文化的催し物に参加する	自主文化事業の総入場者数	人	3,778	3,900	4,401	4,000	4,100
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動に参加した延べ人数	人	99,305	92,000	104,524	92,500	93,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成25年度から公募による指定管理者制度を導入した。リニューアルから15年を経過し、各種設備等に不具合が発生する頻度が高まっている。市民からは安心して快適に利用できるよう、設備等を充実してほしいという声がある。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	6,183	5,987	5,591	6,000	6,000
	一般財源	千円	68,428	49,410	51,824	48,007	48,827
事業費		千円	74,611	55,397	57,415	54,007	54,827

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
自主文化事業 5月 今日霧島ピアノの日 50人 7月 たにぞうスーパーライブ 2,143人 霧島国際音楽祭in国分「管の祭典」 686人 桂竹丸独演会 293人 きりしま舞台塾 102人 8月 霧島の花嫁 719人 10月 今日霧島ピアノの日 44人 3月 ミュージックステージ 364人 計 4401人	文化協会を始めとする文化関係団体の発表拠点として、フル回転した。自主文化事業はバラエティに富んだ内容で、幅広い年齢層の市民が楽しみ昨年以上の動員数を得た。

事務事業コード	0110060604049903	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	【参考：昨年度の内容】 市民が文化的催し物に参加することは、芸術文化活動に取り組むきっかけとなるので結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	【参考：昨年度の内容】 市民会館は設置管理条例で規定される公の施設であり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	【参考：昨年度の内容】 市民のあらゆる年齢層のニーズに沿った企画をすることで成果がある程度は向上する。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	【参考：昨年度の内容】 本市の中核を担う文化施設であり廃止の影響は大きい。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等  【参考：昨年度の内容】 霧島市民会館に特化した事務事業である。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考：昨年度の内容】 公募による指定管理者制度を導入済みであり、これ以上の削減はできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	【参考：昨年度の内容】 公募による指定管理者制度を導入済みであり、これ以上の削減はできない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	【参考：昨年度の内容】 減免規定に該当しない場合は使用料を徴収している。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島市民会館の指定管理者が行う自主事業について、より集客を図るよう提言する。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	施設の修繕に要する費用について、より徹底した事前点検を行うことで支出増加を抑えていく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	011006099999901	事務事業名	文化振興関係各種協議会等参画事業	担当部	教育部		
				担当課	文化振興課		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課長	富永 博幸		
施策名	04	文化の振興		グループ	芸術文化グループ		
基本事業名	01	芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5204		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年頃～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )		
	款	10 教育費			根拠法令・条例等		
	項	06 社会教育費					
	目	06 文化振興費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
・各市町村の文化施設を活性化するために設立された、全国公立文化施設協会及び鹿児島県公立文化施設連絡協議会への参画事務 ※市民の文化関係団体での活動を支援するために、全国規模あるいは全県下を対象とした団体に加盟し、様々な情報を入手、市民へ情報提供することを目的とする。						

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 鹿児島県公立文化施設連絡協議会主催の会議への参加回数	回	2	2	2	2
イ 全国公立文化施設協会からの情報提供回数	回	12	12	12	12
ウ					

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 市民						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 文化関係団体での活動を促進する						
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 芸術文化活動を通じ、親睦や交流が図られ、団体が活性化する						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
文化関係団体から主催事業に対する財団等からの助成を希望する声がある。

4. 事業費の推移	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	33	33	33
事業費	千円	33	33	33	33

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
・全国公立文化施設協会=年:28,000円 ・鹿児島県公立文化施設連絡協議会=年:5,000円	・全国公立文化施設協会及び鹿児島県公立文化施設連絡協議会への参画により、各種文化関係団体への情報提供が図られた。

事務事業コード	0110060699999901	事務事業名	文化振興関係各種協議会等参画事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
A 目的妥当性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	【参考:昨年度の内容】 団体の規模等で負担金が決まっており、負担を削減することはできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	【参考:昨年度の内容】 事務内容が負担金の支払い、メールの受信、整理等であり職員以外の対応や外部委託は不可能である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○	○					
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	現在、加盟している「全国公立文化施設協会」と「鹿児島県公立文化施設連絡協議会」への負担金であるが、今後、負担金の増加とならないために事業の効率化と加盟団体の増加について提言していく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	加盟している2団体の活動をより活発化していくよう提言する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

